

2021年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年5月7日

上場会社名	クックパッド株式会社	上場取引所	東
コード番号	2193	URL	https://info.cookpad.com/
代表者（役職名）	代表執行役	（氏名）	岩田 林平
問合せ先責任者（役職名）	執行役	（氏名）	犬飼 茂利男
四半期報告書提出予定日	2021年5月10日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	： 有		
四半期決算説明会開催の有無	： 無		

（百万円未満切捨て）

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,623	△4.7	△346	—	△335	—	△417	—	△349	—	200	—
2020年12月期第1四半期	2,751	△6.3	191	△35.7	212	△29.1	50	△48.5	138	△35.4	△500	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△3.25	△3.25
2020年12月期第1四半期	1.28	—

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	26,735	24,872	23,750	88.8
2020年12月期	26,664	24,665	23,475	88.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2021年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期1Q	107,429,400株	2020年12月期	107,429,400株
2021年12月期1Q	4,011株	2020年12月期	4,011株
2021年12月期1Q	107,425,389株	2020年12月期1Q	107,425,438株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

サマリー情報「3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)」に掲げた理由から、業績予想については記載していません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(6) 継続企業の前提に関する注記	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年12月期第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）の業績は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	2021年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比
売上収益	2,751	2,623	△4.7%
営業利益(△損失)	191	△346	－%
税引前四半期利益(△損失)	212	△335	－%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益(△損失)	138	△349	－%

当社グループは「毎日の料理を楽しむにする」というミッションの下、日本のみならず世界中の料理のつくり手を増やすべく、料理に関する様々な課題解決に向けた積極的な投資を行っています。このミッションについて、当社グループの事業活動の目的・存在意義を明確にするため、定款に「当社は、『毎日の料理を楽しむにする』ために存在し、これをミッションとする。」「世界中のすべての家庭において、毎日の料理が楽しみになった時、当社は解散する。」という記載をしています。

世界中の人々の生活は資本主義体制の中で非常に豊かになりました。貧困に悩む人は減り、医療技術の革新により人類の寿命は長くなりました。しかしながら、生活は豊かになりましたが、肥満や生活習慣病、バーチャルな人間関係の偏重がもたらす心の病は増加しました。また、「地球」の健康という意味でも、CO2の排出量の増加、オゾン層の破壊、土壌や海洋の自浄作用を超えた汚染等大きな犠牲を払ってきました。

外食やデリバリーの普及によって、安くて美味しいものが手軽に食べられるようになりましたが、それらの食品を流通させるために、多くの森林が伐採され、ゴミも増え続けています。結局、今まであった問題を解決する中で、また新たな問題を作っているに過ぎないのではないかと当社グループは考えています。

ひとの健康に必要なのは、食事、運動、睡眠といわれています。世界でもっとも頻度高く行われている社会活動は、家族での食事です。つまり食は、地球にも、ひとにも、社会にも大きな影響を与えているといえます。この食の良し悪しが地球と、ひとと、社会の、これからの分岐点になると思っています。

当社グループは、食の世界を良くするには、「つくり手を増やすこと」が重要だと考えています。資本主義社会では、どうしても利益の追求が優先され、結果、地球の未来を犠牲にすることが多くなりますが、つくり手になると様々な「気づき」が増え、より正しいと思う考えに基づいて「自ら変える力」が強くなります。「つくり手」で居続けてもらうためには、料理が楽しみに、それも、毎日楽しみになる仕組みづくりが必要だと思うのです。料理をもっとクリエイティブで楽しいものにしたい。「つくること」をワクワク楽しいことにしたい。「作業」ではなくどンドンうまくなるものにしたい。料理をとおして、他の人とのつながりが楽しみとなり増えてくようにしたい。そんな風に考えています。

世界中の70億人の中には、すでに料理をたのしんでいる「つくり手」がたくさんいます。そのひとたちのエネルギーや、知恵や、思いや、気持ちや、人々を励まし助けになるようなコミュニティをつくりたいと思っています。当社グループは地球、ひと、社会、の健康を「毎日の料理を楽しむにする」ことによって実現していきます。

それを実現するための取り組みの一つとして、当社グループは、事業展開を加速し、「つくり手」や生活者との物理的距離を縮め、料理に関する様々な課題に迅速に対応するために、本社を2021年5月に神奈川県横浜市に移転することを決定しました。

当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,623百万円（前年同期比4.7%減）となりました。これは主に国内レシピサービス広告売上が減少したこと、およびその他売上において通信キャリアとのレベニューシェア型の売上が減少したことによります。販売費及び一般管理費は国内の人員数の増加とそれに伴う付随費用が増加したことにより2,865百万円（前年同期比16.5%増）となりました。また、税引前四半期損失は335百万円（前年同期は212百万円の利益）、親会社の所有者に帰属する四半期損失は、法人所得税費用を計上した一方で、CookpadTV株式会社において非支配持分に帰属する四半期損失が発生したことにより、349百万円（前年同期は138百万円の利益）となりました。

当社グループは、「毎日の料理を楽しむにきる事業」の単一セグメントであります。売上収益の内訳は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	2020年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	2021年12月期 第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比
毎日の料理を楽しむにきる事業	2,751	2,623	△4.7%
国内レシピサービス会員売上	1,813	1,804	△0.5%
国内レシピサービス広告売上	659	591	△10.3%
その他売上	278	227	△18.2%

当第1四半期連結累計期間における国内のレシピサービス会員売上は1,804百万円（前年同期比0.5%減）となりました。これは主に前年同期と比較しプレミアムサービス会員が2.4万人減少したこと等によります。

当第1四半期連結累計期間における国内レシピサービス広告売上は591百万円（前年同期比10.3%減）となりました。これは主にネットワーク広告単価が下落したこと等によります。

当第1四半期連結累計期間におけるその他売上は、227百万円（前年同期比18.2%減）となりました。これは主に通信キャリアとのレベニューシェア型の売上収益が減少したこと等によります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ70百万円増加し、26,735百万円となりました。このうち、流動資産は同312百万円増加し、25,473百万円となり、非流動資産は同241百万円減少し、1,261百万円となりました。

これらの増減の主な要因は、流動資産については、為替の円安影響等により現金及び現金同等物が180百万円増加したこと、非流動資産については、本社移転に伴い旧本社設備の償却を追加で実施したこと等により有形固定資産が159百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ136百万円減少し、1,862百万円となりました。このうち、流動負債は同111百万円減少し、1,270百万円となり、非流動負債は同24百万円減少し、592百万円となりました。

流動負債の減少の主な要因は、リース負債の返済により、リース負債が64百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ206百万円増加し、24,872百万円となりました。この主な要因は、為替の円安影響等によりその他の資本の構成要素が624百万円増加したこと、及び利益剰余金が349百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、22,866百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により支出した資金は、276百万円となりました。この主な要因は、減価償却費及び償却費214百万円を計上した一方で、税引前四半期損失335百万円、法人所得税等の支払額98百万円が生じたことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は、146百万円となりました。この主な要因は、本社移転に伴う敷金及び保証金の差入による支出112百万円が生じたことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は、98百万円となりました。この主な要因は、リース負債の返済による支出98百万円が生じたことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、日本を含む世界中の人々に向けて「毎日の料理を楽しみにする」サービスを提供するべく積極的に投資を行っていく所存です。その投資の時期や金額の規模については、事業を取り巻く環境等の変化に応じて機動的に判断していく想定です。このため、2021年12月期の連結業績予想については、合理的に算定することが困難であるため、開示を行っていません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	22,685,528	22,866,050
営業債権及びその他の債権	2,065,144	2,213,424
その他の金融資産	6,166	5,452
棚卸資産	32,443	26,557
その他の流動資産	372,581	362,467
流動資産合計	25,161,862	25,473,949
非流動資産		
有形固定資産	521,760	362,108
のれん	140,920	140,920
無形資産	262,003	247,604
その他の金融資産	295,944	231,189
繰延税金資産	271,683	272,249
その他の非流動資産	10,634	7,036
非流動資産合計	1,502,944	1,261,106
資産合計	26,664,806	26,735,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
リース負債	288,712	224,072
営業債務及びその他の債務	765,137	710,938
その他の金融負債	42,259	41,173
未払法人所得税等	8,455	7,293
その他の流動負債	277,441	286,587
流動負債合計	1,382,005	1,270,064
非流動負債		
リース負債	365,323	362,601
その他の債務	15,324	—
引当金	236,654	230,112
非流動負債合計	617,301	592,713
負債合計	1,999,306	1,862,776
資本		
資本金	5,286,015	5,286,015
資本剰余金	7,194,224	7,194,224
利益剰余金	11,517,831	11,168,243
自己株式	△2,022	△2,022
その他の資本の構成要素	△520,558	104,129
親会社の所有者に帰属する持分合計	23,475,489	23,750,588
非支配持分	1,190,011	1,121,690
資本合計	24,665,500	24,872,279
負債及び資本合計	26,664,806	26,735,055

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上収益	2,751,967	2,623,919
売上原価	△104,855	△109,225
売上総利益	2,647,112	2,514,693
販売費及び一般管理費	△2,459,768	△2,865,931
その他の収益	4,816	5,922
その他の費用	△430	△1,222
営業利益(△損失)	191,730	△346,538
金融収益	22,991	11,552
金融費用	△1,732	△1,012
税引前四半期利益(△損失)	212,989	△335,998
法人所得税費用	△162,149	△81,911
四半期利益(△損失)	50,840	△417,909
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	138,190	△349,588
非支配持分	△87,349	△68,321
四半期利益(△損失)	50,840	△417,909
1株当たり四半期利益(△損失)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)(円)	1.28	△3.25
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)(円)	—	△3.25

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期利益(△損失)	50,840	△417,909
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	—	230
純損益に振り替えられることのない項目合計	—	230
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△551,521	618,212
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△551,521	618,212
税引後その他の包括利益	△551,521	618,441
四半期包括利益	△500,681	200,533
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△413,331	268,853
非支配持分	△87,349	△68,321
四半期包括利益	△500,681	200,533

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計		
2020年1月1日時点の 残高	5,286,015	7,194,224	11,112,155	△2,008	△227,190	23,363,196	1,458,326	24,821,521
四半期利益(△損失)	—	—	138,190	—	—	138,190	△87,349	50,840
その他の包括利益	—	—	—	—	△551,521	△551,521	—	△551,521
四半期包括利益合計	—	—	138,190	—	△551,521	△413,331	△87,349	△500,681
株式報酬取引	—	—	—	—	4,320	4,320	—	4,320
自己株式の取得	—	—	—	△14	—	△14	—	△14
所有者との取引額合計	—	—	—	△14	4,320	4,306	—	4,306
2020年3月31日時点の 残高	5,286,015	7,194,224	11,250,344	△2,022	△774,390	22,954,171	1,370,976	24,325,147

当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2021年1月1日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,517,831	△2,022	△520,558	23,475,489	1,190,011	24,665,500
四半期利益(△損失)	—	—	△349,588	—	—	△349,588	△68,321	△417,909
その他の包括利益	—	—	—	—	618,441	618,441	—	618,441
四半期包括利益合計	—	—	△349,588	—	618,441	268,853	△68,321	200,533
株式報酬取引	—	—	—	—	6,246	6,246	—	6,246
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	6,246	6,246	—	6,246
2021年3月31日時点の残高	5,286,015	7,194,224	11,168,243	△2,022	104,129	23,750,588	1,121,690	24,872,279

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	212,989	△335,998
減損損失	12,402	3,875
減価償却費及び償却費	134,483	214,753
金融収益及び金融費用 (△は益)	47,456	△50,385
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△258,991	42,757
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△42,220	△92,696
その他	△40,170	40,427
小計	65,950	△177,266
利息及び配当金の受取額	5,079	280
利息の支払額	△1,660	△988
法人所得税の支払額	△73,195	△98,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,827	△276,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,597	△31,651
無形資産の取得による支出	△2,362	△7,691
子会社の取得による支出	△53,282	—
敷金及び保証金の差入による支出	△337	△112,659
その他	9,628	5,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△96,951	△146,817

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△98,576	△98,364
自己株式の取得による支出	△14	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,590	△98,364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199,368	△522,003
現金及び現金同等物の期首残高	23,105,395	22,685,528
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△596,583	702,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,309,444	22,866,050

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. 報告企業

クックパッド株式会社(以下、当社)は日本に所在する企業です。2021年3月31日に終了した3ヶ月間の当社の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下、当社グループ)により構成されています。

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」を企業理念とし、インターネット上で料理レシピの投稿・検索等が可能な「クックパッド」を中心に事業展開しています。

2. 作成の基礎

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に定める要件を満たしており、「指定国際会計基準特定会社」に該当しますので、同第93条の規定により、IAS第34号「期中財務報告」に準拠して作成しています。

なお、要約四半期連結財務諸表は、年度の連結財務諸表で要求されている全ての情報を含んでいないため、前連結会計年度の連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 測定的基础

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定されている特定の金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しています。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、千円未満を四捨五入して表示しています。

3. 重要な会計方針

本要約四半期連結財務諸表の作成に適用した重要な会計方針は、他の記載がない限り、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

なお、当第1四半期連結累計期間の法人所得税は、見積平均年次実効税率を用いて算定しています。

4. 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行うことが義務付けられています。実際の業績は、これらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は継続して見直します。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りを変更した会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識します。

経営者が行った要約四半期連結財務諸表の金額に重要な影響を与える見積り及び判断は、前連結会計年度の連結財務諸表と同様です。

5. セグメント情報

当社グループは、「毎日の料理を楽しみにする」事業の単一セグメントとなるため、事業分野ごとの収益、損益及びその他項目の記載を省略しています。

6. 後発事象

当社は、2021年3月25日付の取締役会において、ストック・オプション（以下「本新株予約権」とう。）を発行することを決議し、2021年5月7日に発行内容が確定し、割当てを行いました。

発行内容の概要は以下のとおりです。

(1) 新株予約権の目的である株式の種類および数

当社普通株式 442,000株

(2) 新株予約権の発行数

4,420個

なお、本新株予約権1個当たりの目的となる株式の数は100株とする。

(3) 新株予約権の行使に際して出資される財産の価額

本新株予約権1個当たり 金32,800円（1株当たり金328円）

(4) 新株予約権の割当ての対象者およびその人数ならびに割り当てる新株予約権の数

割当対象者	人数	割当新株予約権数
当社の執行役	8名	1,550個
当社の従業員	35名	1,350個
当社子会社の取締役	10名	520個
当社子会社の従業員	11名	1,000個
合計	64名	4,420個

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。